

番号	国名	名称	色	サイズ	その他	写真
1	ネパール	サリー	複数あり	女性フリー	<p>【この衣装のみ】</p> <p>ネパール人講師による本場の着付けとなります。先着3名 （ブラウス（チョリ）は個人でサイズにあうカットソーを準備いただくことがあります）</p>	
2	インド、スリランカなど	サリー	深緑	女性フリー	<p>南アジアで着用されている。 地域や部族により着方が異なる。</p>	

3	インド	バンジャビ・ドレス	赤	女性フリー (M～L)	インドではサリーと並んで一般的。サリーに比べると若年層が愛用。	
4	バングラデシュ	サロワカ	深緑	女性フリー (M～L)	バングラデシュでは、サリーと並ぶ伝統衣装。	

5	タイ	タイドレス	赤	女性フリー (M~L)	タイの民族衣装で、地域によっていろいろな様式がある。	
6	中国	チャイナドレス	赤	女性フリー (M~L)	清王朝の貴族の服装が改良されてできたと言われている。時代により、柄や色、丈などに変化がある。	

7	台湾	チャイナドレス	青	女性フリー (M~L)	<p>大陸から台湾に渡った人たちによって普及し、1960年頃をピークに、以前は普段着として着用されていた。</p>	
8	中国	人民服	緑	男性フリー (M~L)	<p>1980年代初めまで中華人民共和国では、成人男性に広く着用されていた。 現在では中国国内でも入手は難しい。 (帽子は貸し出しに含まれません)</p>	

9	ウズベキスタン	クイナク	茶	女性フリー	<p>アトラス織りという日本の絣と同じような方法でおられた織物。 (帽子は貸し出しに含まれません)</p>	
10	モロッコ	ジェラバ	青	女性フリー	<p>イスラム教で肌の露出を抑えつつ、ファッションも加味された民族衣装。 (ベルトは貸し出しに含まれません)</p>	

11	韓国	チマ・チョゴリ	白	女性フリー	慶事などハレの日には、ノリゲと呼ばれるアクセサリーを腰の部分に垂らす。	
12	ベトナム	アオザイ	紫	女性フリー (M～L)	アオザイは長い衣という意味で、正装として着用される。	

13	トルコ	不明	緑	女性フリー (M~L)	トルコ地方で高齢者が着用している衣装。	
14	ミャンマー、タイなど	ロンジー、パーシン、サロン、ルンギー	黒赤	男性フリー	<p>ミャンマーでは正式な場合にも着られるが、他の国では室内着をはじめ広く使用される。</p> <p>(Tシャツは各自でご準備ください)</p>	

15	インドネシア	クバヤ、サロン	白緑	女性フリー (M~L)	<p>正装として着用されることが多い。 島によってそれぞれのデザインがある。</p>	
16	アフリカ	ブブ	白茶	女性フリー (M~L)	<p>アフリカでよく見られる筒型のワンピース。</p>	

17	アフリカ	ダシキ	緑	男性フリー (M~L)	<p>腰までの丈が一般的なプルオーバー。</p> <p>飾りのあるVネックと刺繍で仕立てられた襟袖が特徴。</p> <p>(帽子は貸し出しに含まれません)</p>	
18	モンゴル	デール	茶	男性フリー (M~L)	<p>男性用デール。腰にブスという帯やベルトを締め、後樽（先のとがったブーツ）を履く。</p> <p>(ブーツ、帽子は、貸し出しに含まれません)</p>	